

研究業績 (H19 年度～H22 年度) ※著作物のみ掲載

論文

自閉症

1. Keino H, Keino H¹, Miwa C², Kawakita K³, Hosokawa M, Funahashi A (¹Lemon Club, ²Nagoya Univ, ³Meiji Univ of Integrative Med): Facilitation of social and interpersonal behaviors of children with pervasive developmental disorders through psycho-educational horseback riding. *J Anim Edu Ther* 1: 1-8, 2009.
2. Keino H, Funahashi A, Keino H¹, Miwa C², Hosokawa M, Hayashi Y³, Kawakita K⁴ (¹Lemon Club, ²Nagoya Univ, ³Univ of Tokyo, ⁴Meiji Univ of Integrative Med): Psycho-educational horseback riding to facilitate communication ability of children with pervasive developmental disorders. *J Equine Sci* 20: 79-88, 2009.
3. 慶野宏臣¹, 松本美穂², 樹神俊春², 慶野裕美 (¹NPO 法人篠木, ²湯の山乗馬クラブ): 乗馬することで著明な機能回復を引き起こした脳出血後遺症片麻痺患者. *障害者スポーツ科学* 5(1): 63-71, 2007.
4. 慶野裕美, 美和千尋¹, 川喜田健司², 細川昌則, 慶野宏臣³ (¹名古屋大, ²明治鍼灸大, ³障害者乗馬レモンクラブ): 広汎性発達障害児に見られた乗馬の効果. *ヒトと動物の関係学会誌* 18: 45-51, 2007.
5. 慶野裕美, 慶野宏臣¹ (¹障害者乗馬レモンクラブ): 馬と出会ったひろ君. *特別支援教育研究* 6002: 50-57, 2007.
6. 慶野裕美, 鷺見 聡¹, 慶野宏臣² (¹名古屋市西部地域療育センター, ²障害者乗馬レモンクラブ): 広汎性発達障害児における乗馬療育プログラムの検討. *小児の精神と神経* 47: 173-182, 2007.
7. 慶野宏臣¹, 慶野裕美, 川喜田健司², 美和千尋³, 舟橋 厚 (¹障害者乗馬レモンクラブ, ²明治国際医療大, ³名古屋大): 広汎性発達障害を持つ子どもたちが乗馬活動することによる療育支援効果発現とその経過. *ヒトと動物の関係学会誌* 20: 74-81, 2008.
8. 慶野裕美, 川喜田健司¹, 田谷 充², 荒谷穰治², 田谷与一³, 慶野宏臣⁴ (¹明治国際医療大, ²グリーンポート小松, ³石川障害者乗馬を推進する会, ⁴障害者乗馬レモンクラブ): 乗馬セラピーにおける認知症患者の記憶. *馬の科学* 45: 217-221, 2008.
9. 慶野裕美, 川喜田健司¹, 田谷 充², 田谷与一³, 細川昌則, 舟橋 厚, 長谷川桜子, 竹澤大史, 慶野宏臣⁴ (¹明治国際医療大, ²グリーンポート小松, ³石川障害者乗馬を推進する会, ⁴障害者乗馬レモンクラブ): 高齢者における乗馬活動の効果—高齢者、健常児・者および障害児・者の乗馬活動中の表情変化を比較して—. *Hippophile* 34: 14-20, 2008.
10. 慶野裕美, 竹澤大史, 長谷川桜子, 舟橋 厚, 美和千尋, 伴野友美, 慶野宏臣 「広汎性発達障害児における「コミュニケーションとしての言語を促すための乗馬プログラム」の開発」『自閉症スペクトラム研究』 7, 2008, 61-69.
11. 慶野宏臣、慶野裕美、川喜田健司、美和千尋、舟橋 厚 「広汎性発達障害を持つ子どもたちが乗馬活動することによる療育支援効果発現とその経過」『ヒトと動物関係学会誌』 20, 2008, 74-81.
12. 慶野裕美・舟橋厚・美和千尋・竹澤大史・細川昌則・慶野宏臣 「広汎性発達障害児における乗馬療育活動実施による日常生活上の行動変化の検討」『発達障害研究』 32, (2) 2010, 1181-190.

重度知的障害

1. Chiba Y, Shimada A, Yoshida F¹, Keino H, Hasegawa M², Ikari H³, Miyake S, Hosokawa M (¹Ctrl Hosp, ²Yoraku-So, ³Fukushi-Mura Hosp): Risk of Fall for Individuals with Intellectual Disability. *Am J Intellect Dev Disabil* 114: 225-236, 2009.

2. 松本陽子¹, 北川美由紀¹, 鈴木弥生², 長谷川桜子, 松本昭子¹ (¹こぼと学園, ²中央病院): 重症心身障害児(者)のQOLに関する研究—新しいこぼと版 QOL 評価質問表作成の試み—. 重症心身障害の療育 3(2): 199-207, 2008.
3. 慶野裕美・川喜田健司・田谷 充・田谷与一・細川昌則・舟橋 厚・長谷川桜子・竹澤大史・慶野宏臣 「高齢者における乗馬活動の効果 —高齢者、健常児・者 および障害児・者の乗馬活動中の表情変化を比較して— 『ヒポファイル』 34, 2008, 14-20.
4. 三浦清邦¹, 長谷川桜子, 小森 拓², 竹澤大史, 細川昌則 (¹豊田市こども発達センター, ²こぼと学園): 地域で生活している重症心身障害のある人への医療の実態に関する調査—医療状況と医療機関利用状況について—. 日本重症心身障害学会誌 45: 161-170, 2009.

その他

1. Kumagai N¹, Chiba Y, Hosono M¹, Fujii M¹, Kawamura N, Keino H, Yoshikawa K, Ishii S, Saitoh Y, Satoh M, Shimada A, Hosokawa M (¹Niigata Univ) Involvement of pro-inflammatory cytokines and microglia in a age-Associated neurodegeneration model, the SAMP10 mouse. *Brain Res* 1185: 75-85, 2007.
2. Saitoh S¹, Matsui F, Chiba Y, Kawamura N, Keino H, Satoh M, Kumagai N, Ishii S, Yoshikawa K, Shimada A, Maeda N², Oohira A, Hosokawa M (¹Hyogo College Med, ²Tokyo Metropolitan Inst Neurosci): Reduced expression of MAb6B4 epitopes on chondroitin sulfate proteoglycan aggrecan in perinerronal nets from cerebral cortices of SAMP10 mice: A model for age-dependent neurodegeneration. *J Neurosci Res* 86: 1316-1323, 2008.

著書

自閉症および重度知的障害

1. 舟橋 厚 『療育に活かす脳科学』 コレール社, 2008 東京.

重度知的障害

1. 長谷川桜子: 知的障害者福祉法. 発達障害基本用語事典(金子書房, 東京), 日本発達障害学会(監), pp 143-144, 2008.
2. 長谷川桜子: 認知的学習—第3節 知能の生涯発達変化—. 知的・発達障害児の学習—心理と指導支援— (田研出版, 東京), 梅谷忠勇(編著), pp 38-50, 2009.

心身障害全般

1. 竹澤大史: ソーシャル・スキル・トレーニング (SST). ワードマップ認知的個性—違いが生きる学びと支援. 新曜社, pp 275-279, 2010.
2. 竹澤大史: 新興教育運動と障害児教育. キーワードブック障害児教育—特別支援教育時代の基礎知識. クリエイツかもがわ, pp 264-265, 2010.
3. 竹澤大史: 平和教育 - ベトさんとドクさんの発達を通して -. キーワードブック障害児教育—特別支援教育時代の基礎知識. クリエイツかもがわ, p280, 2010.

インターネットジャーナル等

自閉症

1. 舟橋 厚: 「自閉症の行動変容と扁桃体」『療育に活かす脳科学』(WEB版). 教育と福祉の特別支援ジャーナル 14, コレール社, 2007. <http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-3.htm>

重度知的障害

1. 舟橋 厚: 「重度知的障害のある人々の私の絆」『療育に活かす脳科学』(WEB版). 教育と福祉の特別支援ジャーナル12, コレール社, 2007. <http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-1.htm>

2. 舟橋 厚：「療育の成否を決めるのは脳の能動性と感情脳」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 13，コレール社，2007．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-2.htm>
3. 舟橋 厚：「脳科学の最新テクノロジーと本質を観る暖かな‘観音様のまなこ’」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 15，コレール社，2007．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-4.htm>
4. 舟橋 厚：「共感性と信頼を育む扁桃体」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 16，コレール社，2007．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-5.htm>
5. 舟橋 厚：「生き生きとしたところを支える扁桃体」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 17，コレール社，2007．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-6.htm>
6. 舟橋 厚：「武士の一分と感情脳システム」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 18，コレール社，2007．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-7.htm>
7. 舟橋 厚：「脳を生かした能動性を生むのは他者からの信頼と相互援助行動」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 19，コレール社，2007．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-8.htm>
8. 舟橋 厚：「感情脳によるコミュニケーションの偉大さ」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 20，コレール社，2008．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-9.htm>
9. 舟橋 厚：「療育に生かす脳科学 刊行にあたって」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 21，コレール社，2008．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-10.htm>
10. 舟橋 厚：「飛躍をもたらすマジカルワード」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 22，コレール社，2008．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-11.html>
11. 舟橋 厚：「愛ある科学に支えられる愛ある療育」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 23，コレール社，2008．<http://www.colere.co.jp/kiji9-12.html>
12. 舟橋 厚：「社会性のレベルアップの決め手は創造性」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 24，コレール社，2008．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-13.html>
13. 舟橋 厚：「共感性の発達に効く他者からの厚き信頼」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 25，コレール社，2008．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-14.html>
14. 舟橋 厚：「Q&A 激しいチックのあるお子さんのことで相談します」『舟橋厚先生の療育相談コーナー』1，コレール社，2008．<http://www.j-forum.jp/corele/colere-member/ryouiku/qal.php>
15. 舟橋 厚：「縄張り意識の暴走を制御する思いやり能力」『療育に生かす脳科学』(WEB版) 教育と福祉の特別支援ジャーナル 26，コレール社，2009．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-15.html>
16. 舟橋 厚：「療育の質をきめる“3種の神器”」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 27，コレール社，2009．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-16.html>
17. 舟橋 厚：「知的障害と共感能力の共存に気づくこと」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 28，コレール社，2009．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-17.html>
18. 舟橋 厚：「お付き合いを楽しくするコツ」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 29，コレール社，2009．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-18.html>
19. 教育・福祉学部：地域（家庭・グループホーム）で生活している重症心身障害のある人への医療の実態に関する調査－地域別集計結果－．愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所教育・福祉学部，2009．http://www.inst-hsc.jp/d-education/kenkyu_seika011.html
20. 舟橋 厚「“問題行動”と誤認される理由」『療育に生かす脳科学』(WEB版)．教育と福祉の特別支援ジャーナル 30，コレール社，2010．<http://www.colere.co.jp/kiji/kiji9-19.html>

心身障害全般

1. 舟橋 厚：「Q&A 問題行動のある子どもの理解の仕方・接し方で悩んでいます」『舟橋厚先生の療育相談コーナー』2，コレール社，2009．<http://www.j-forum.jp/corele/colere-member/ryouiku/>

qa2.php

2. 舟橋 厚：「Q&A プラウダーウイリー症候群との診断を受けた高1男子について相談します」『舟橋厚先生の療育相談コーナー』3, コレール社, 2009. <http://www.j-forum.jp/colere/colere-member/ryouiku/qa3.php>

その他の印刷物

自閉症

1. 舟橋 厚：「心身障害をめぐる最近の研究—脳科学的療育論から療育的価値論をめざして」コロニーだより 347, p6, 2007.
2. 舟橋 厚, 慶野裕美, 慶野宏臣¹, 長谷川桜子, 竹澤大史, 細川昌則 (¹ヒトと馬のインタラクシオン研究会)：情動(快・不快)モデルに基づく発達障害児の対人行動促進の試み—乗馬療法を題材として. 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所年報, 36, pp41, 2007.
3. 慶野裕美, 舟橋厚, 慶野宏臣¹, 美和千尋², 長谷川桜子, 竹澤大史, 細川昌則 (¹ヒトと馬のインタラクシオン研究会, ²名古屋大・医学部)：乗馬療育プログラムによる広汎性発達障害児に見られた効果の検討. 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所年報, 36, pp42, 2007.
4. 竹澤大史：短期母子療育プログラムの評価方法に関する研究. 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所年報, 36, pp41, 2007.
5. 舟橋 厚：快情動場形成に関する量子力学的検討の試み—乗馬療法を題材として—. 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所年報 37, pp38, 2008.
6. 慶野裕美, 慶野宏臣¹, 美和千尋², 川喜田健司³, 長谷川桜子, 竹澤大史, 舟橋 厚：広汎性発達障害児への乗馬活動による療育支援効果. 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所年報, 37, pp39, 2008.

重度知的障害

1. 長谷川桜子, 千葉陽一, 島田厚良, 舟橋 厚, 竹澤大史, 慶野裕美, 細川昌則, 吉田 太¹, 水野誠司¹, 池田由紀江² (¹中央病院, ²健康科学大)：日本版知的障害者用認知症スクリーニング尺度の作成. 平成19年度愛知県心身障害者コロニープロジェクト研究報告書, pp31-32, 2008.
2. 長谷川桜子：コロニープロジェクト研究から—知的障害のある人向けの認知症スケールの作成—. コロニーだより 357, p 2, 2009.
3. 北川美由紀¹, 松本昭子¹, 新美俱次¹, 松本陽子¹, 中野俊子¹, 村上美佐¹, 浜田浩美¹, 早川智恵美¹, 小森 拓¹, 宮崎修次¹, 鈴木弥生², 長谷川桜子 (¹こばと学園, ²中央病院)：こばと学園における重症心身障害児(者)のQOLに関する研究—新しいQOL評価表作成の試みとその活用について—. 平成19年度愛知県心身障害者コロニープロジェクト研究報告書, pp51-54, 2008.
4. 北川美由紀¹, 松本陽子¹, 松本昭子¹, 鈴木弥生², 長谷川桜子 (¹こばと学園, ²中央病院)：こばと学園における重症心身障害児(者)のQOLに関する研究—こばと版QOL評価質問紙の実用化に向けての取り組みとその活用について—. 平成20年度愛知県心身障害者コロニープロジェクト研究報告書, pp 25-28, 2009.
5. 丸山幸一¹, 吉田 太¹, 鈴木基正¹, 長谷川桜子, 小森 拓², 熊谷俊幸², 三浦清邦³ (¹中央病院, ²こばと学園, ³豊田市こども発達センター)：コロニー中央病院小児神経科から地域医療機関に紹介した成人患者の追跡調査. 平成20年度愛知県心身障害者コロニープロジェクト研究報告書, pp 34-37, 2009.

自閉症と重度知的障害

1. 竹澤大史, 勝尾裕和¹, 笠原伸洋², 小松則登², 森祐美子², 鈴木麻秩子^{1,2}, 大嶋由紀^{1,2}, 吉村育子², 菱田 学², 小林由佳², 堀 未来², 吉川 徹² (¹療育支援課, ²中央病院)：広汎性発達障害児の養育者に対するサイコエデュケーションのプログラムの開発. 平成19年度愛知県心身障害者コロニープロジェクト研究報告書, pp7-10, 2008.

2. 菱田 学¹, 吉川 徹¹, 竹澤大史, 酒井浩三², 吉田 太¹ (¹中央病院, ²はるひ台学園) : 知的障害児施設入所者における新規抗精神病薬への切り替えについての研究. 平成 19 年度愛知県心身障害者コロニープロジェクト研究報告書, pp19-22, 2008.
3. 竹澤大史: 短期母子療育プログラムの評価方法に関する研究 (2) : 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所年報, 37, pp38, 2008.
4. 竹澤大史: 広汎性発達障害児の養育者のためのサイコエデュケーションプログラムの開発. コロニーだより 353, p 3, 2008.
5. 竹澤大史, 鈴木麻秩子^{1, 2}, 山本桂子^{1, 2}, 笠原伸洋², 小松則登², 森祐美子², 吉村育子², 菱田学², 吉川 徹³, 長谷川桜子, 慶野裕美, 舟橋 厚, 細川昌則 (¹療育支援課, ²中央病院, ³名古屋大) : 広汎性発達障害児の養育者に対するサイコエデュケーションプログラムの開発. 平成 20 年度愛知県心身障害者コロニープロジェクト研究報告書, pp 19-22, 2009.
6. 鈴木麻秩子^{1, 2}, 竹澤大史, 塩田 心¹, 吉川 徹³, 長谷川桜子, 吉村育子² (¹療育支援課, ²中央病院, ³名古屋大) : 広汎性発達障害のある子どものコミュニケーションにおける療育サービスとその評価法について①ー母子相互作用に焦点をあててー. 日本発達心理学会第 21 回大会発表論文集, p 674, 2010.
7. 竹澤大史, 鈴木麻秩子^{1, 2}, 塩田 心¹, 笠原伸洋², 長谷川桜子, 吉川 徹³, 吉村育子² (¹療育支援課, ²中央病院, ³名古屋大) : 広汎性発達障害のある子どものコミュニケーションにおける療育サービスとその評価法について②ー母子相互作用に焦点をあててー. 日本発達心理学会第 21 回大会発表論文集, p 675, 2010.
8. 竹澤大史: 認知的個性とは何か?ー才能と発達障害に応じる個性化教育ーソーシャル・スキルと認知的個性. 日本教育心理学会第 52 回総会論文集, pp152 - 153, 2010.
9. 吉川徹¹, 加藤香², 竹澤大史, 日詰正文³ (¹名古屋大, ²自閉症協会, ³文部科学省) : 愛知県における自閉症スペクトラム障害ペアレントメンター活動の実態. 第 51 回日本児童青年精神医学会総会抄録集, P209, 2010.

心身障害全般

1. 竹澤大史: 短期母子療育プログラムの評価方法に関する研究. 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所年報, 36, pp41, 2007.
2. 舟橋 厚, 慶野裕美, 長谷川桜子, 竹澤大史: 療育現場で発生するトラブルの迅速な解決を行うための地域社会システム作りに関する研究. 愛知県心身障害者コロニー 発達障害研究所年報 37, pp38, 2008.